

家。同九年四月十日晝七時過泉野寺町輝昌寺より出火、翌十一日晝四時前に至つて鎮火した。その焼失したものは、金澤城内殿閣の外、士庶の邸宅一萬五百八家。死者廿六人を出した。

同十年三月二十日大衆免より出火、延焼百餘家。

同十二年六月五日卯辰より出火、延焼六百家許。

同八年八月二日泉野寺町より出火、延焼四百九十九家。

(十三)明和の火災—明和元年六月廿六日夜六時半頃茶屋町能登屋五郎兵衛より出火。愛宕下町・觀音町・四丁木町・森下町まで延焼六百餘家、夜九時半頃鎮火。

同五年二月朔天徳院罹災。

(十四)安永の火災—安永八年五月廿五日大衆免より出火、延焼百六十九家。

(十五)天明の火災—天明元年六月廿三日小立野より出火、延焼百三十六家。

同二年四月七日暨町より出火、延焼百廿一家。

同三年三月二日上堀川町より出火、淺野町等延焼百五十家。

同年三月廿二日田井新町より出火、延焼七十餘家。

(十六)寛政の火災—寛政四年三月朔日晝尾川覺源寺前より出火、延焼百五十家許。

(十七)文化の火災—文化五年正月十五日夜六時金澤城内二ノ丸御殿より出火、同夜八時頃に至つて鎮火。

同六年三月二日晝七時大衆免庄左衛門町より出火、延焼二百一十一家。

同六年六月十二日晝七時大衆免石屋小路より出火、延焼百五十一家。

同年七月九日夜九時金屋町妙應寺より出火、延焼五百九十六家。

同九年三月十九日晝尾川覺源寺前より出火、延焼五十餘家。

同十一年十二月六日五枚町より出火、延焼四十餘家。

同十二年三月廿八日晝九時、大衆免石屋小路より出火、延焼千九百九十四家。

同年七月八日曉八時石坂足輕町より出火、延焼六百七十二家。

(十八)文政の火災—文政六年四月十七日田井新道より出火、延焼百三十九家。

(十九)天保の火災—天保二年七月四日暮六時高儀町より出火、延焼百三十家。

同三年二月廿三日曉九時半時上堤町より出火、延焼七十餘家。

同六年三月十一日曉七時横安江町より出火、東西本願寺別院以下延焼九百二十家。

同八年三月十六日曉八時半時公儀町より出火、延焼百餘家。

同十三年五月十四日鍛冶町より出火、延焼六十五家。

(二十)弘化の火災—弘化二年十月廿四日曉七時前横堤町より出火、延焼三百五十八家。

同三年四月十七日晝八時水車町より出火、延焼千四百四十二家。

同年五月十九日夜五時前安江町より出火、延焼百一家。

(廿一)嘉永の火災—嘉永元年四月十七日田町より出火、延焼二百一十八家。

同五年四月二日夜五時新町より出火、延焼二百家。

同六年四月十七日晝九時半時田町より出火、延焼二百一十八家。

(廿二)安政の火災—安政二年十一月十六日暮六時東本願寺別院より出火、延焼百二家。

この火災は看坊寶藏寺有法・誓念寺學習が什器を盗出し、發覺を恐れて放火したるに因る。

同四年九月九日曉八時半時下安江町より出火、延焼六十餘家。

同六年正月九日朝七時十間町より出火、延焼百三十四家。

カジ 火事(大聖寺藩) 大聖寺及び同藩内に於ける火災の主なるものは概ね左の如くである。

(一)元祿の火災—元祿六年七月十四日午刻大聖寺町内田八右衛門家の燈籠から火を失し、藩邸を焼き、遂に上福田村に及んだ。

(二)享保の火災—享保十四年四月廿九日夜子刻中新道請酒屋久兵衛から出火し、翌日辰中刻に至つて止んだ。

(三)寶曆の火災—寶曆八年二月二十日夜町人富屋茂右衛門から出火し、類焼二百軒許。

同十年二月七日夜子刻中新道から出火、焼亡千二百餘屋に及び、八日辰の刻鎮つた。

同年五月廿一日全昌寺が焼けた。

(四)安永の火災—安永二年三月朔日福岡新町から出火、晝七時より同半時に及び、焼亡四十九軒。

同三年十月五日夜八時半下新町より出火、焼亡八十八軒。

(五)寛政の火災—寛政八年四月六日曉七時魚屋町から出火、焼亡百二十一軒。

是の年中温泉の湯屋大半焼亡。

(六)享和の火災—享和二年十二月朔日曉九時過大聖寺永町から出火、七時鎮火。

同三年二月廿五日朝六時半、藩邸表土藏より出火。

(七)文化の火災—文化元年七月廿六日越前吉崎より出火、加賀吉崎に移焼、塩屋村に飛火して悉く之を焼いた。

同四年三月十二日敷地村空善寺より出火、類焼四十戸。

同五年二月廿三日山中村出火、類焼百十五軒、薬師堂も亦災に罹つた。

同八年六月廿九日敷地村火災、類焼廿三軒。

(八)文政の火災—文政六年十一月三日串茶屋村出火、大半焼亡。

(九)天保の火災—天保元年五月三日曉七時半大聖寺永町より出火、類焼三十餘軒。

同二年九月串村焼失、百軒以上に及ぶ。

同年十月八日晝九時半時大聖寺下荒町より出火、類焼廿三軒。

同八年三月廿六日永町より出火、類焼七十六軒。

(十)嘉永の火災—嘉永元年五月十八日晚小島町より出火、類焼廿一軒。

同四年十月二十日實性院座禪堂、明主堂焼失。

(十一)安政の火災—安政六年七月十三日小島町より出火、類焼二十餘軒。

(十二)萬延の火災—萬延元年七月十六日串村百餘軒焼失。

同年九月日不詳塩屋村より出火、類焼五十餘軒。

同年十月十四日晝七時前大聖寺永町より出